

Project Name

わたしたちの地域の防災力を高めよう!!

被害を最小限にするには「まず防災について知ること」「そしてできることから備えていくこと」

今年4月、熊本県・大分県で大きな地震が続けて発生し、被災された方々は今も大変な思いをしています。これは遠くのできごとではありません。私たちが住んでいる岡山県の近くでは、南海沖を初めとしたもっと大きな活断層があることを知るべきです。

内閣府は「今後30年以内に南海トラフ巨大地震が60～70%の確率で発生する」と予測しています。それを信じるか信じないかはあなた次第ですが、「信じる者は救われる」という諺もあります。信じて備えていても損はありません。そしていかにして災害と向き合うかということを考えていきましょう。一人ひとりの心の準備と、災害に対する備えがしっかりできていたら、想定される被害を半減できると言われています。

私たちVC連絡会は防災に対する講座を開いており、各地区への出前講座をはじめ昨年は中学校の行事にも呼んでいただきました。連島中学校では、地域の保育園児を連れて高台に避難するという体験講座も行いました。30年先を考え、大人だけでなく子どもたちにも防災に対する知識を持ってもらいたいと思っています。

まずは防災について知ること、そしてできることから備えていくこと。結成して10年、私たちは活動を通してずっとこれらのことを伝え続けています。



保育園児との避難訓練記事／非常食の体験記事／南中学校での講座／避難所への安全通路について話し合い

Group Name

倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会(VC連絡会)

平成16年8月に山口県に上陸した台風により、岡山県も大きな被害を受けました。倉敷市は高潮による被害で、自衛隊やたくさんの方々のボランティアの支援を受けました。その経験から、ボランティアをうまく動員するために養成された団体です。

【お問合せ】Tel・・・086-423-1982 (松永)

Web・・・<http://mobileteam-r.org/kvc/> facebook・・・<https://www.facebook.com/KurashikiDVC/>



▲Web



▲facebook

事業概要

事業の目的

地域に出向き、講座と炊き出し訓練を行うことにより、地域の方に防災(減災)についての理解を深めてもらう。
また、防災についての啓発活動を行うことで、自分の身は自分で守るという心構えをもつ人々、災害時に自分や家族の判断で安全に行動できる人々を増やす。

活動内容・実績

昨年度は4つの地域で出前講座、3つの中学校で体験的な講座を行いました。中学生が大人になった時、さらに理解を深めたくて先頭に立って防災活動をやってくれると期待しています。

団体からのメッセージ

チョットした時、防災について思いが浮かんでくる人、地域の防災について自分の思いを打ち明ける所がない人など、気軽に参加して欲しいと思っています。

私たちが大切にしていること・・・地域の人達の気持ちを理解し、気軽に話し合え、気軽に相談を持ちかけられるようなグループ員であること。実行力をもつこと。

この活動を通じて得たもの・・・地区防災担当者の思いを充足することがその地域の信頼度につながるの、地域住民に誠心誠意を尽くすことが大事だということ。

